庭植えのカリン

晩秋の収穫のころ、カリンの実をつけた庭のわきを通り過ぎると、その芳香に魅せられます。また、カリンの酒の話を耳にした時なども、ぜひ自分の庭に植えてみたくなります。

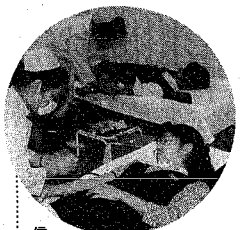
カリンは果樹の中でも野生に近く、庭植えをすれば、ほとんど手入れなしでも実をつけてくれるくらい丈夫な樹です。

カリンの実はごく短い枝の先端部につきますが、木が若いうちは幹が上にばかり伸びて、なかなか小枝が出てきません。したがって、実がなるまで年数がかかります。ふつうカリンは種から育てた苗木を庭植えにすると実をつけるまでに五年以上（種まきをしてから八年以上）かかります。

秋の植木市で実のついたカリンの苗木を見かけますが、これは鉢植えで育て株の勢力を一時的に弱くするように管理して作りあげたものです。これを庭植えした場合、急に根が張り、木が若返って栄養生長が盛んになりすぎて、すぐには実をつけてくれません。その場合、開花後勢いのよい枝に縄を引張って、湾曲させたりして樹をいじめると、早目に実をつけます。（園芸センター）

血液が不足しています

安心して積極的な献血を!!



会議室などを使った職場の「オープン献血」（安田信託銀行で）

新しい献血制度の導入、移行で、制度への誤解などのため昭和六十一、六十二年度とダウンした献血実績は六十三年度の終盤に入ってもその低調傾向は変わっていません。

血液の安定供給を目指している県赤十字血液センター（関屋下川原町一、織原義男所長）では献血低調期の冬期でもあり、献血への理解と協力を一層強く市民のみなさんに呼びかけています。

献血ダウンは、従来からの〝怖い〟〝痛い〟〝体力がない〟〝めんどうだ〟の理由に加え、六十一年度からは〝エイズ、肝炎への感染〟〝四〇〇㎖献血へ全面移行〟などの誤解に基づく原因が加わり、若年層を中心に献血離れが生じていました。

献血は安全を第一に行われています。正しい知識を持って、安心して積極的に献血をお願いします。

3つの献血から自分で選ぶ

二〇〇㎖献血、四〇〇㎖献血、成分献血の三種類があります。古町献血ルーム（古町七七）、献血車「ゆうあい号」などでお受け下さい。

この中で、血液センターだけで実施している成分献血とは、血液中の血漿（しょう）や血小板という成分だけを献血してもらい、赤血球などの成分は献血者へ同時に戻す、という新しい献血方法です。最近の輸血は血液を成分ごとに輸血する方法がほとんどで、成分献血の必要性が高くなっています。献血時間を一時間半ほどみて、どうぞ。

問い合わせ 県赤十字血液センター（☎231－3125）へ

希望する団体は、所定の用紙（体育課にあります）に記入し、申し込み下さい。

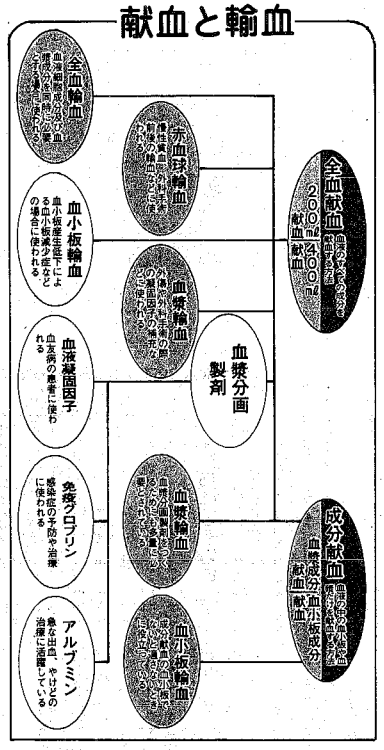
対象 市内在住・在勤で十人以上で構成する団体

申し込み期限 ①中学校利用希望団体…二月二十日②小学校利用希望団体…三月一日

申し込み・問い合わせ 体育課学校開放係（☎2291－6633）へ

※中学校の利用場所・曜日は抽選により決定します。（抽選は三月一・二日）

献血と輸血



市長ノート

朝日昇る

謹んで年頭のあいさつをすること十数回。今年は、口はばったくて慎重にと思いながら、ついつい、例年の口調になりかねない。

一月に入ってから雨もなく、昭和五十九年並みと言われた大雪もなく、しのぎやすい日々が続いたが、やはり風は避けられない。越後の冬の空は、どうしてこうなんだろうと思うほど、どんよりとしている。

もちろん、一辺の青空などは探しても見られない。独特の鉛色で、雨気を伴うとさらに寡が垂れこめる様に、長年住み来たった人は割り切っているものの、初めて見る人々は堪えられない気持ちになることと思う。

年改まって二日目も良い日和であったが、九日の天候はまれにみる上天気で、四月ころを思わせ、十二度の最高気温であった。その朝は、近年では珍しく朝日が昇り、思わず手を合わせて拝むしぐさにさせられた。

喪に伏す気持ちの中でごめい福を祈りながらも、今年一年は、かくのごとくに最良の年であれかしと、希こいねが）う折りにさせられたのは、あながち小生ひとりではないと思う。

今までは「来年は市制百周年」との掛け声であったのが、「百周年は今年なのだ!!」の実感がわく。名実ともに節目の年になった。百周年記念事業もプロジェクトとして着工し、今年中に完成するもの、継続されるもの、あるいは企画されているものさまざまある。記念行事も盛りだくさんある中で、幾つかその成就について昨年後半から良い兆しが出てきた。

それは長年の宿願であった「万代橋で踊りたい」という夢が実現すること、新潟のまちづくりやあるべき姿を標ぼうする市民憲章や「市の木・市の花」を制定すること、そして今まで、培ってきた新潟市の足どりを集大成する市史編さん、などである。

さらに次代へ引き継ぐべき市発展の礎となる大事業は、あたかも、あのあかね色の空を真紅に染め、そして、昇るにつれて光を増してくる朝日のように、これから飛翔する本市の姿を象徴するかのごとく思え、いつの間にか拝んでいる。

みんなで市制百歳を祝い、記念して、次の百年に向けて残したいものだ。

（一月十二日）

新潟市長　笹木元喜

新年度の学校開放

利用希望団体は申請を

市では、市民の皆さんの身近な施設として、市立の全小・中学校を放課後開放しています。

小学校は〝地域住民の集う場〟として、中学校は〝一般同好会のための施設〟として利用されています。

平成元年度（四月～来年三月）新たに学校開放の利用を団体で、新年度募集要項を「市報にいがた」（三月二十六日号）に掲載希望の団体は、二月十七日までに直接、市体育協会（一番堀通町、市分庁舎四階体育課内）へ申し込み下さい。※所定の用紙は市体育協会にあります。

問い合わせ 市体育協会（☎2291－6633）へ

松井和彦（指揮者）中沢桂（声楽家）を招き

オペラの公開講座

音楽文化会館では、松井和彦、中沢桂の日本オペラ界を代表する二人を講師に招き、オペラ公開講座を開催します。

現在、オペラを勉強中の方、オペラに興味をお持ちの方、どうぞ参加下さい。

時間 午後7時～9時

定員 先着80人

申し込み 電話で音楽文化会館（☎2244－5813）へ

①**2月8日「蝶々夫人」の音楽解釈（松井和彦）**…プッチーニ作曲のオペラ「蝶々夫人」の中からいくつかのアリアを取り上げ、指揮者の立場から作品の持つ意味を分析、音楽解釈を行う。

②**2月22日「蝶々夫人」の音楽指導（中沢桂）**…「蝶々夫人」のアリアを、日本の代表的なソプラノ歌手・中沢桂さんの指導で音楽的に仕上げていく。

③**3月8日「蝶々夫人」の演技指導（中沢桂）**…音楽、演技の両面から指導し、まとめる。

市報での募集は2月17日までに

少年少女スポーツクラブ員

市内の少年少女を対象に活動しているスポーツクラブ・

音文〈室内楽のタベ〉 太田茂ファゴット・リサイタル

日時 2月3日午後7時半～8時45分

会場 音楽文化会館

チケット 1,500円

※太田さんは上越市の出身で、東京芸大卒。ウィーンへ留学後、現在は東京シティーフィル首席ファゴット奏者。ピアノ伴奏は鬱沼恵美子さん。

問い合わせ 音楽文化会館（☎224－5813）へ

牛乳を使った料理講習会

日時 2月5日午前10時半～午後1時半

会場 坂井輪地区公民館（保育室あり）

定員 母親30人

協力費 200円

問い合わせ 斉藤（☎㊐268－3267）へ

青年の家スキーのつどい

期日 2月11、12日（1泊2日）※11日の午前7時に青年の家に集合

行き先 南魚沼郡六日町

対象 市内在住・在勤の18歳～30歳までの青年、35人（先着順）

内容 スキーのつどい、11日の夜に六日町青年団との交歓会

参加費 1人8,500円、リフト代自己負担

申し込み 参加費を添えて青年の家（弁天3、☎244－4828）へ

電話加入権の公売

日時 1月30日午前10時

会場 市役所本庁舎8階803会議室

その他 買受代金は午後1時までに現金で納付。電話局で行う権利移転手続きのときは、住民票と印鑑が必要です。

問い合わせ 納税課へ

「文芸にいがた」第8号を頒布中

予約された方は、1月31日までに中央公民館または各地区公民館でお受け取り下さい。価格は一冊1,000円です。

初心者レザークラフト教室

日時 2月10日～3月31日毎週金曜日午後1時半～3時半。ただし、2月24日と3月10日は休み（計6回）。

会場 中央公民館

内容 ショルダーバック・セカンドバック・ウエストポーチのいずれか1点と保険証入れを製作

持参品 手芸用ハサミ、カッターナイフ、エプロン、筆記用具

対象 成人30人（先着順）

申し込み 2月3日までに電話で会場（☎223－7070）へ

婦人ソフトバレーボール講習会

日時 2月7、14、21日午後1時～3時

会場 鳥屋野総合体育館

参加費 入場料1回100円、保険料3回200円

持参品 トレーニングウエアー、室内用運動靴、タオル

申し込み 2月7日午後零時45分までに直接会場へ

問い合わせ 会場（☎241－4600）へ

体力向上にトレーニングセンター

場所 陸上競技場内

2月の新規受付日		受付時間	対象
男子	1．8．14．22日	午後3時45分と午後5時45分	高校生以上
女子	6．13．20日		

使用料 月1,000円（19歳未満は500円）

※当日は体力測定とセンターの利用方法を説明します。印鑑と運動着・靴を持参。